

令和5年度 地区懇談会

- 1 市政運営方針
- 2 令和5年度主要事業
- 3 本庁舎の建て替え

市民が主役のまちづくり

重点政策 3 本柱

- ① 子育て世代に寄り添うまち
- ② 誰もがチャレンジできるまち
- ③ 誰一人孤立させないまち

重点政策①

子育て世代に寄り添うまち



- **子育て世代**の負担を軽減
- 「**送迎保育ステーション**」事業を検討
- **こども食堂**と**学習支援**、**相談事業**の充実

重点政策②

誰もがチャレンジできるまち

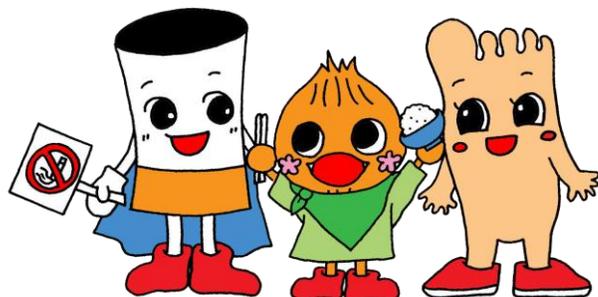
- 創業支援と徹底したフォローアップ
- 観光誘客促進・インバウンド事業の推進
- 美濃焼やタイルなど多治見の「宝物」を世界へ



重点政策③

誰一人孤立させないまち

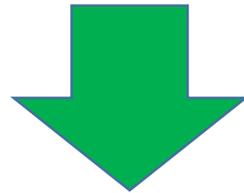
- 地域医療体制の堅持
- すべての人に寄り添う保健福祉事業
- 健康寿命の延伸を図り健康マイレージを拡充



重点政策の実現に向けて

市民の皆さんと
つくり上げる

第8次総合計画に反映



令和6年度から本格的にスタート

令和5年度主要事業

子どもを元気に ～子育て・教育環境整備～

Pick Up
No. 1

(新)児童発達支援センター建設 5億484万円



発達支援センターなかよし（元町）
発達支援センターひまわり（笠原町）
ことばの教室（養正幼稚園内）
ことばの教室（昭和幼稚園内）

4 施設統合

愛称「わかば」
令和6年4月供用開始予定
（脇之島小学校隣接）

充実

利用児や家族への支援
障がい児支援の中核的役割

子どもを元気に ～子育て・教育環境整備～

Pick Up
No. 2

(仮称)笠原小中学校建設

実施設計・仮設校舎借上げ等

2億9,685万円



笠原幼保小中一貫教育を一層充実

笠原小学校
笠原中学校

統合
新設

小中一貫教育校
(仮称) 笠原小中学校

現在の笠原小学校敷地に新設
令和8年4月 開校予定

※令和6年4月から現笠原中学校敷地内
仮設校舎使用

子どもを元気に ～子育て・教育環境整備～

Pick Up
No. 3

(仮称)笠原こども園建設

基本・実施設計

4,341万円

笠原保育園
笠原小学校附属幼稚園

統合

現在の笠原保育園舎
増改築リニューアル
幼保連携型認定こども園

(仮称) 笠原こども園を整備
令和8年4月 開園予定



現在の笠原保育園舎

経済を元気に ～アフターコロナに向けた産業・観光の活発化～

Pick Up
No. 4

観光誘客、インバウンド需要の取込 4,581万円

外国語パンフレット刷新

海外PR用動画のデジタルサイネージ広告

インバウンド推進プロジェクトチーム



経済を元気に ～アフターコロナに向けた産業・観光の活発化～

Pick Up
No. 5

消費地地場産業販路拡張事業 1,106万円



首都圏等における
美濃焼の販路拡大・認知度向上

東京で開催されるテーブルウェア・フェスティバル出展等
美濃焼振興協会への補助

テーブルウェア・フェスティバル2023の様子

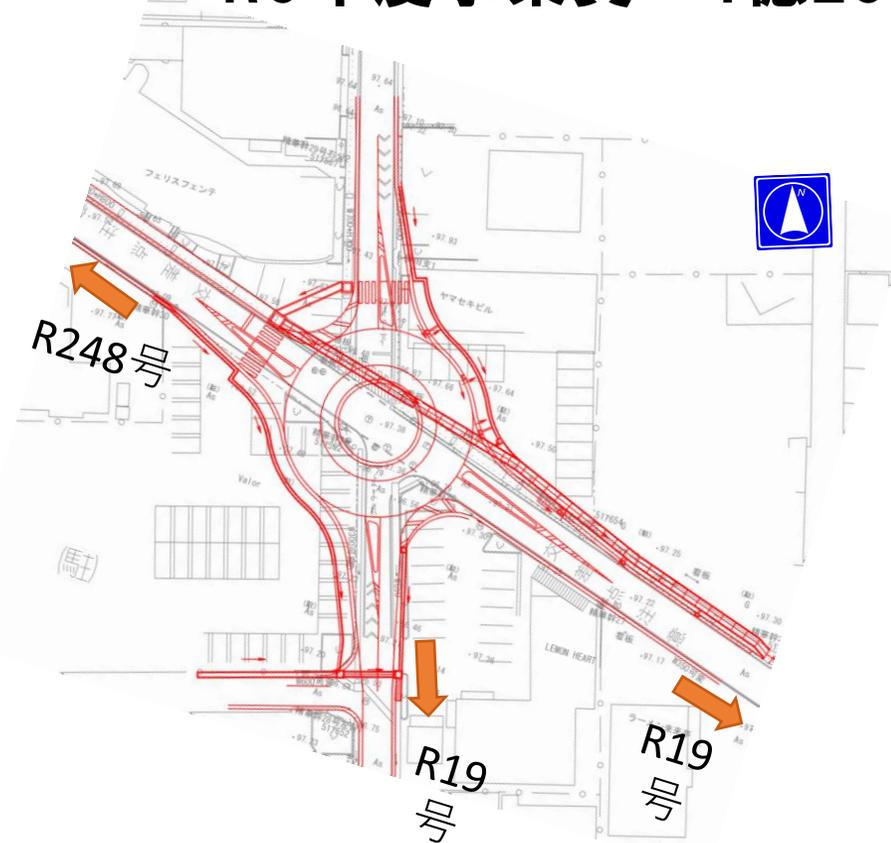
まちを元気に ～社会や生活を支える基盤の整備・維持～

Pick Up
No. 6

若松町交差点(ラウンドアバウト)改良事業

総事業費：約4億円

R5年度事業費：1億296万円



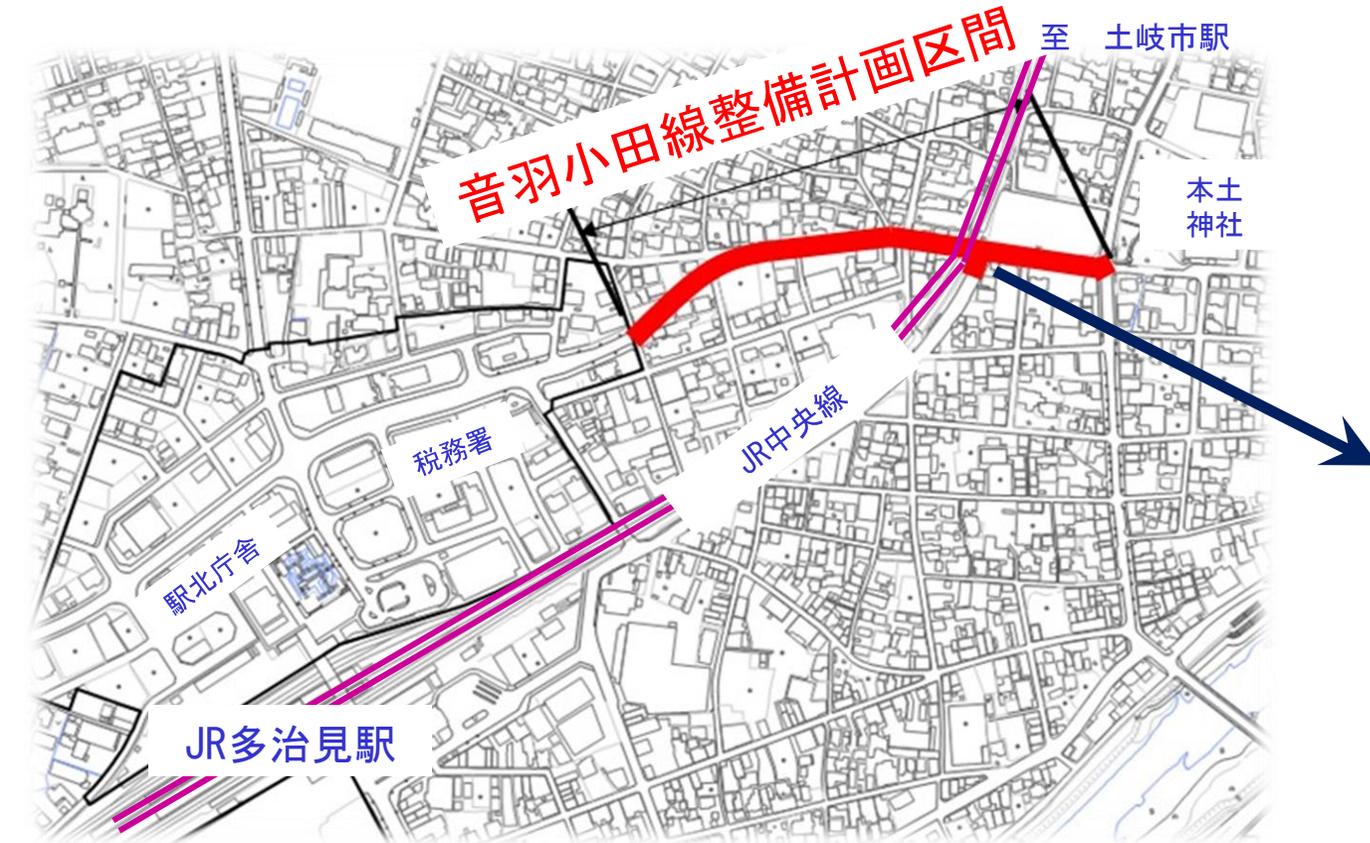
まちを元気に ～社会や生活を支える基盤の整備・維持～

Pick Up
No. 7

都市計画道路 音羽小田線道路改良事業

道路詳細設計

5,800万円



JR中央線高架下

まちを元気に ～社会や生活を支える基盤の整備・維持～

Pick Up
No. 8

(新)北消防署建設 設計・用地造成 1億5,453万円



現在の光ヶ丘から
根本町へ移転新築

令和8年4月 供用開始予定

まちを元気に ～社会や生活を支える基盤の整備・維持～

Pick Up
No. 9

笠原中央公民館改修整備 総事業費：10億6,161万円

R5年度事業費：6億4,246万円

笠原交流センターへ

令和6年4月リニューアルオープン予定

笠原児童館の移設

地下1階に大ホール新設（150人規模）

アザレアホールを解体し駐車場拡張（31台）

長寿命化改修

（内装改修・受変電設備等の設備更新）



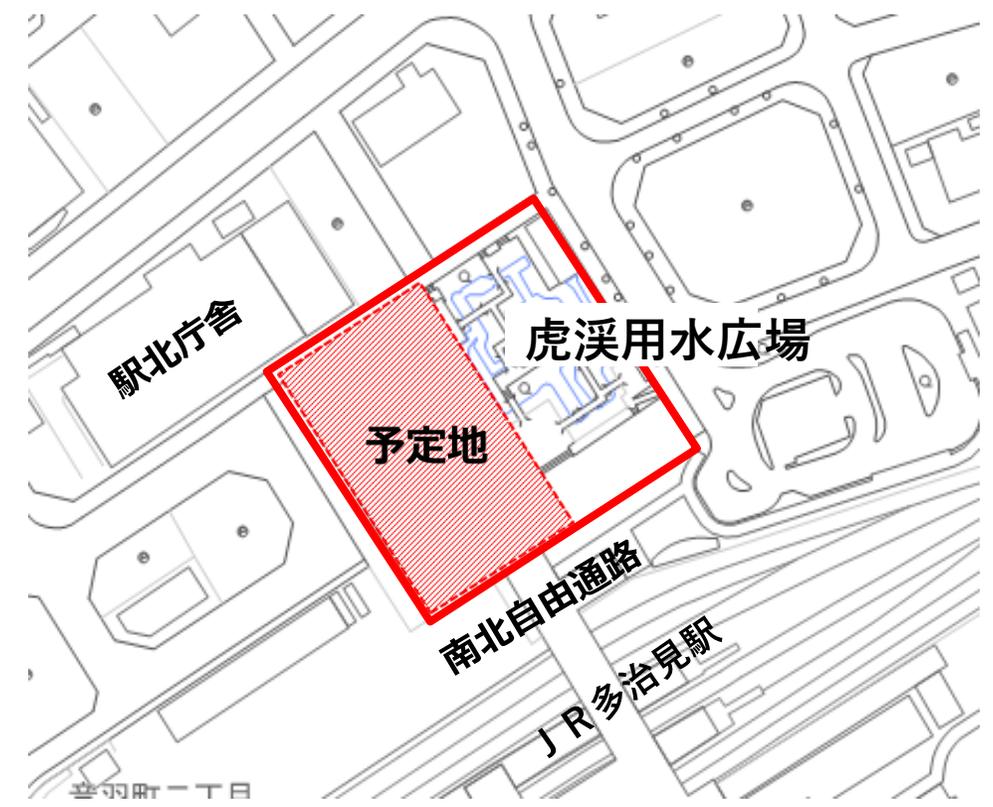
本庁舎の建て替え

令和5年度 新本庁舎建設準備事業 3億5,835万円

基本構想・基本計画の策定
基本設計
地質調査
埋蔵文化財発掘調査



JR多治見駅北口 本庁舎建設予定地



新庁舎基本構想のためのコンセプト(市民委員会)

R5.3.31に市民委員会から提案がありました

これまでの多治見の魅力を継承しつつ、新しい時代に向けて
活気と活力に溢れたまちの未来を切り拓くものとしていきます

新庁舎の基本要件

- (1) 2階を南北自由通路、現駅北庁舎と接続
虎溪用水広場も含めた一体的な街並みを形成
- (2) 虎溪用水広場を新庁舎の前庭として位置づけ
駅北におけるにぎわいの拠点とする
- (3) 新庁舎と現駅北庁舎を一体のものとして運用



新しい市庁舎体制（南北2棟）で実現

コンセプトA：市行政の中核的施設

基本機能①

行政サービスの新しい中心

基本機能②

災害対応の最重要拠点

基本機能③

多治見の魅力を発信する場

コンセプトB：まちづくりの中心的拠点

基本機能④

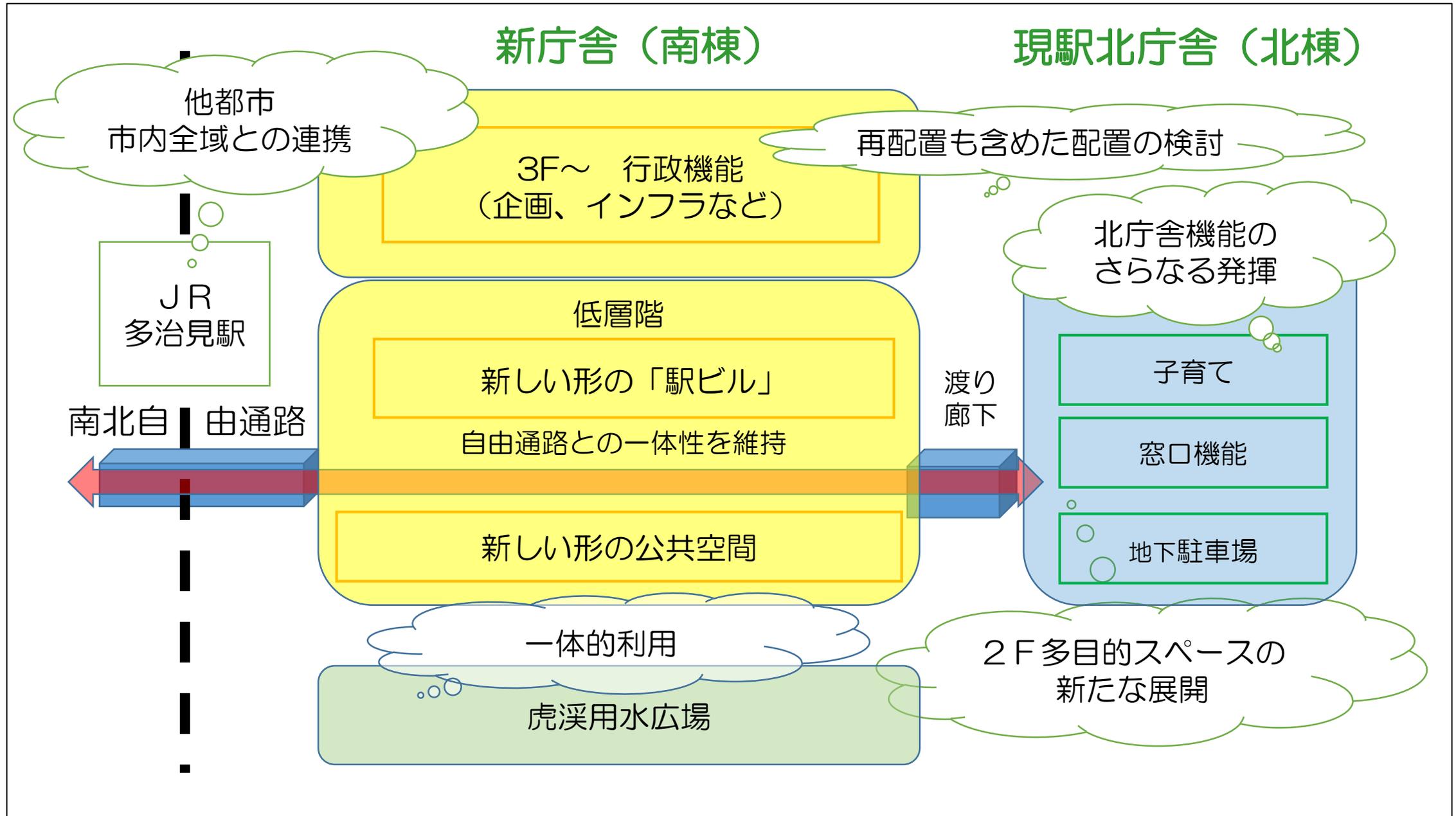
まちの姿や未来を表すシンボル

基本機能⑤

市内地域間連携の結節点

基本機能⑥

新たなにぎわいの交流拠点



令和4年度完了事業

- ・多治見駅南地区市街地再開発事業竣工
- ・バロー文化ホール大規模改修工事
- ・第2期高田テクノパークへの進出企業決定



令和5年度6月補正予算計上予定事業

- ・星ヶ台運動公園整備事業
- ・体育施設整備(総合体育館のLED化 など)
- ・高規格救急車購入



星ヶ台運動公園整備全体図 (完成イメージ)



市民が主役の まちづくり

